

編集後記

『マレーシア研究』第7号をお届けします。発行が大幅に遅れたことをお詫びします。今号はマラヤ建国60周年を記念したシンポジウム（2017年10月）をもとに「忘却されざる記憶—60年後からみるマラヤ建国」というタイトルで特集号を組みました。シンポジウムに先立って、一般公開の形でラウ・ケクファアット監督の映画『不即不離—マラヤ共産党員だった祖父の

思い出』を上映した上で、ラウ監督には講演者としてご登壇いただき、さらに本特集号にもご寄稿いただきました。ラウ監督をはじめ、本号にご寄稿いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。（祖田）

〔第7号編集担当〕

祖田亮次（委員長）、渡辺洋介、篠崎香織、光成歩、山本博之

投稿募集

『マレーシア研究』への投稿を募集しています。下記の投稿要領およびJAMSウェブサイトに掲載されている募集要領に沿って原稿をお送りください。

・投稿は随時受け付けております。

・投稿先：編集委員会

(malaysia_studies@jams92.sakura.ne.jp)

投稿要領

『マレーシア研究』は日本マレーシア学会の会誌であり、広い意味での「マレーシア研究」に関する論説、研究ノート、書評論文、書評、およびフォーラムを掲載する。刊行は1年に1回とし、投稿は随時受け付ける。

1. 投稿資格：会費を納めた会員および編集委員会が依頼した執筆者とする。
2. 投稿内容：未発表のものに限る。ただし、学会、研究会での口頭発表はこの限りではない。また、同一の原稿を本誌以外に同時に投稿することはできない。
3. 使用言語：投稿原稿で使用できる言語は日本語とする。ただし、注記などにおいてはその他の言語を使用できる（日本語・アルファベット以外の文字を使う場合は編集部に相談すること）。また、採用された原稿については英文要旨を併せて掲載する。
4. 原稿の種類：論説、研究ノート、書評論文、書評、フォーラムの5種類とする。投稿原稿の枚数は40字×30行を1枚と換算して、論説が15～20枚、研究ノートが10～20枚、書評論文が5～10枚、書評が2～5枚、フォーラムが4～10枚とする（いずれも注・図表・参考文献を含む）。原稿に挿入される図表については、大小にかかわらず3点を1枚と換算する。

5. 執筆要領：投稿に際しては、本学会のホームページに掲載された「執筆要領」に準拠した完成原稿を提出する。また、論説、研究ノート、および書評論文については、要旨（1200字程度）を提出する。
6. 査読制度：投稿された原稿は、レフェリーによる審査結果を考慮の上、編集委員会が採否を決定する。
7. 英文要旨：論説および研究ノートが約400語の英文要旨を提出する。英文要旨は提出前にネイティブ・チェックを受ける。ネイティブ・チェックにかかる経費は投稿者が負担するものとする。また、編集委員会が必要と考えた場合、同委員会は投稿者の経費負担によりネイティブ・チェックをかけることがある。
8. 著作権：本誌に掲載されたすべての原稿の著作権は日本マレーシア学会会長に帰属する。なお、原著者が本誌に掲載された文章を他の出版物に再録しようとする場合には、編集委員長に申請し許可を得る。
9. ホームページ上での公開：『マレーシア研究』に掲載されたすべての原稿は、日本マレーシア学会のホームページにて公開する。
10. 投稿先：投稿先および問い合わせ先は下記のとおりとする。なお、投稿に際して、投稿者は、氏名（ふりがな）、所属、連絡先の住所・電話番号・E-mailアドレス、投稿題目、原稿の種別を明記する。

『マレーシア研究』第7号

発行：2019年3月31日

発行者：日本マレーシア学会（JAMS）

（ウェブサイト）<http://jams92.org/>

（連絡先）〒606-8501 京都府京都市左京区吉田下阿達町46
京都大学東南アジア地域研究研究所 山本博之研究室

発行責任者：金子芳樹

編集責任者：祖田亮次

Malaysian Studies Journal

Vol. 7 (March 31, 2019)

Editorial Office: Japan Association for Malaysian Studies (JAMS), c/o Yamamoto Hiroyuki, Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University, 46 Shimoadachi-cho, Yoshida Sakyo-ku, Kyoto, 606-8501, Japan

Website: <http://jams92.org/>

©2019 Japan Association for Malaysian Studies (JAMS)